



Cisco CGS 2520 スイッチ Debug コマンド

この付録では、Cisco CGS 2520 スイッチで使用するために作成または変更された **debug** 特権 EXEC コマンドについて説明します。これらのコマンドは、インターネットワーキングの問題の診断および解決に役立ちます。使用する場合には、必ずシスコのテクニカル サポート担当者の指示に従ってください。

**注意**

デバッグ出力には、CPU プロセスで高いプライオリティが与えられるため、システムが使用不能になる可能性があります。したがって、**debug** コマンドを使用するのは、特定の問題のトラブルシューティング時、またはシスコのテクニカル サポート担当者とともにトラブルシューティングを行う場合に限定してください。**debug** コマンドは、ネットワーク トラフィックが少なく、ユーザも少ないときに使用するのが最良です。このような時間帯を選んでデバッグを実行すると、**debug** コマンドの処理の負担によってシステム利用が影響を受ける可能性が少なくなります。

debug backup

Flex Link バックアップ インターフェイスのデバッグをイネーブルにするには、**debug backup** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug backup {all | errors | events | vlan-load-balancing}

no debug backup {all | errors | events | vlan-load-balancing}

構文の説明

all	バックアップ インターフェイスのデバッグ メッセージをすべて表示します。
errors	バックアップ インターフェイスのエラーまたは例外デバッグ メッセージを表示します。
events	バックアップ インターフェイスのイベント デバッグ メッセージを表示します。
vlan-load-balancing	バックアップ インターフェイスの VLAN ロード バランシングを表示します。

コマンド デフォルト

バックアップ インターフェイス デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug backup コマンドは、**no debug backup** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug dot1x

IEEE 802.1x 機能のデバッグをイネーブルにするには、**debug dot1x** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug dot1x {all | errors | events | packets | registry | state-machine}

no debug dot1x {all | errors | events | packets | registry | state-machine}

構文の説明

all	すべての IEEE 802.1x デバッグ メッセージを表示します。
errors	IEEE 802.1x エラー デバッグ メッセージを表示します。
events	IEEE 802.1x イベント デバッグ メッセージを表示します。
packets	IEEE 802.1x パケット デバッグ メッセージを表示します。
registry	IEEE 802.1x レジストリ呼び出しのデバッグ メッセージを表示します。
state-machine	ステート マシン関連イベント デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug dot1x コマンドは、**no debug dot1x** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show dot1x	スイッチまたは指定されたポートの IEEE 802.1x 統計情報、管理ステータス、および動作ステータスを表示します。

debug etherchannel

EtherChannel/PAgP シムのデバッグをイネーブルにするには、**debug etherchannel** 特権 EXEC コマンドを使用します。このシムは、Port Aggregation Protocol (PAgP; ポート集約プロトコル) ソフトウェア モジュールとポート マネージャ ソフトウェア モジュール間のインターフェイスとなるソフトウェア モジュールです。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug etherchannel [**all** | **detail** | **error** | **event** | **idb**]

no debug etherchannel [**all** | **detail** | **error** | **event** | **idb**]



(注)

PAgP を使用できるのは、ネットワーク ノード インターフェイス (NNI) または拡張ネットワーク インターフェイス (ENI) 上だけです。

構文の説明

all	(任意) EtherChannel デバッグ メッセージをすべて表示します。
detail	(任意) EtherChannel デバッグ メッセージの詳細を表示します。
error	(任意) EtherChannel エラー デバッグ メッセージを表示します。
event	(任意) 主な EtherChannel イベント メッセージをデバッグします。
idb	(任意) PAgP インターフェイス記述子ブロック デバッグ メッセージを表示します。



(注)

linecard キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtringには表示されますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

キーワードを指定しない場合は、すべてのデバッグ メッセージが表示されます。
undebug etherchannel コマンドは、**no debug etherchannel** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show etherchannel	チャンネルの EtherChannel 情報を表示します。

debug ethernet service

イーサネット カスタマーサービス インスタンスのデバッグをイネーブルにするには、**debug ethernet service** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug ethernet service {all | api | error | evc [id evc-id] | instance [id id interface-id |
interface interface-id] | interface [interface-id] | oam-mgr}
```

```
no debug ethernet service {all | api | error | evc [id evc-id] | instance [id id interface-id |
interface interface-id] | interface [interface-id] | oam-mgr}
```

構文の説明

all	イーサネット カスタマーサービスのデバッグ メッセージをすべて表示します。
api	イーサネット インフラストラクチャとクライアントとの相互作用に関するデバッグメッセージを表示します。
error	イーサネット インフラストラクチャ サブシステムで発生したイーサネット カスタマーサービスのエラー メッセージを表示します。
evc	Ethernet Virtual Connection (EVC; イーサネット仮想接続) のデバッグ メッセージを表示します。
id evc-id	(任意) 特定の EVC ID に関連する EVC デバッグ メッセージを表示します。EVC ID に設定できる文字列は 1 ~ 100 文字です。
instance	イーサネット カスタマーサービス インスタンスに関連するデバッグ メッセージを表示します。
id id interface-id	(任意) 特定のイーサネットのサービス インスタンス ID およびインターフェイスに対するイーサネット サービス インスタンスのデバッグ メッセージを表示します。サービス ID に指定できる範囲は 1 ~ 4294967295 です。インターフェイスは物理インターフェイスです。
interface interface-id	(任意) instance キーワードの後に入力すると、インターフェイスのサービス インスタンス デバッグ メッセージが表示されます。ここでは、インターフェイス ID を入力する必要があります。
interface [interface-id]	すべてのインターフェイスまたは指定したインターフェイスにおけるイーサネット サービスのデバッグを表示します。
oam-mgr	インフラストラクチャのイーサネット Operation, Administration, and Maintenance (OAM; 運用管理および保守) マネージャ コンポーネントに対するデバッグ メッセージを表示します。

コマンド デフォルト

イーサネット サービスのデバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

■ debug ethernet service

使用上のガイドライン **undebg ethernet service** コマンドは、**no debug ethernet service** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug interface

インターフェイス関連のアクティビティのデバッグをイネーブルにするには、**debug interface** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug interface {interface-id | null interface-number | port-channel port-channel-number | vlan vlan-id}
```

```
no debug interface {interface-id | null interface-number | port-channel port-channel-number | vlan vlan-id}
```

構文の説明

<i>interface-id</i>	タイプ スイッチ番号/モジュール番号/ポート（例： gigabitethernet 0/2 ）によって識別される、指定された物理ポートのデバッグ メッセージを表示します。
null <i>interface-number</i>	ヌル インターフェイスのデバッグ メッセージを表示します。 <i>interface-number</i> は常に 0 です。
port-channel <i>port-channel-number</i>	指定された EtherChannel ポートチャネル インターフェイスのデバッグ メッセージを表示します。 <i>port-channel-number</i> は 1 ~ 48 です。
vlan <i>vlan-id</i>	指定した VLAN のデバッグ メッセージを表示します。指定できる <i>vlan id</i> の範囲は 1 ~ 4094 です。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

キーワードを指定しない場合は、すべてのデバッグ メッセージが表示されます。

undebug interface コマンドは、**no debug interface** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show etherchannel	チャネルの EtherChannel 情報を表示します。

debug ip dhcp snooping

DHCP スヌーピングのデバッグをイネーブルにするには、**debug ip dhcp snooping** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug ip dhcp snooping {*mac-address* | **agent** | **event** | **packet**}

no debug ip dhcp snooping {*mac-address* | **agent** | **event** | **packet**}

構文の説明

<i>mac-address</i>	指定された MAC アドレスを持つ DHCP パケットのデバッグ メッセージを表示します。
agent	DHCP スヌーピング エージェントのデバッグ メッセージを表示します。
event	DHCP スヌーピング イベントのデバッグ メッセージを表示します。
packet	DHCP スヌーピングのデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug ip dhcp snooping コマンドは、**no debug ip dhcp snooping** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug ip igmp filter

Internet Group Management Protocol (IGMP; インターネット グループ管理プロトコル) フィルタ イベントのデバッグをイネーブルにするには、**debug ip igmp filter** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug ip igmp filter

no debug ip igmp filter

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug ip igmp filter コマンドは、**no debug ip igmp filter** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug ip igmp max-groups

Internet Group Management Protocol (IGMP; インターネットグループ管理プロトコル) 最大グループイベントのデバッグをイネーブルにするには、**debug ip igmp max-groups** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug ip igmp max-groups

no debug ip igmp max-groups

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug ip igmp max-groups コマンドは、**no debug ip igmp max-groups** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。

debug ip igmp snooping

Internet Group Management Protocol (IGMP; インターネット グループ管理プロトコル) スヌーピング アクティビティのデバッグをイネーブルにするには、**debug igmp snooping** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug ip igmp snooping [group | management | querier | router | timer]

no debug ip igmp snooping [group | management | querier | router | timer]

構文の説明

group	(任意) IGMP スヌーピング グループ アクティビティのデバッグ メッセージを表示します。
management	(任意) IGMP スヌーピング管理アクティビティのデバッグ メッセージを表示します。
querier	(任意) IGMP スヌーピング クエリア デバッグ メッセージを表示します。
router	(任意) IGMP スヌーピング ルータ アクティビティのデバッグ メッセージを表示します。
timer	(任意) IGMP スヌーピング タイマー イベントのデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

debug ip igmp snooping コマンドは、**no debug ip igmp snooping** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
debug platform ip igmp snooping	プラットフォームに依存する IGMP スヌーピング アクティビティに関する情報を表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug ip sla error twamp connection

Cisco IOS IP Service Level Agreement (SLA; サービス レベル契約) Two-Way Active Measurement Protocol (TWAMP; 双方向アクティブ測定プロトコル) のデバッグ出力をイネーブルにするには、**debug ip sla error twamp connection** コマンドを特権 EXEC モードで使用します。このデバッグ出力は、TWAMP クライアントとサーバとの通信中に発生する例外を示します。デバッグ出力をディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug ip sla error twamp connection [source-ip ip-address]

no debug ip sla error twamp connection [source-ip ip-address]

構文の説明

source-ip ip-address (任意) 指定したソースの IP Performance Metrics (IPPM; IP パフォーマンスメトリック) TWAMP 接続をデバッグします。クライアント デバイスの IP アドレスを使用するソースを指定します。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

debug ip sla error twamp connection 特権 EXEC コマンドでは、サーバとリフレクタとの TWAMP 通信中に発生した例外に関するメッセージが表示されます。

undebug ip sla error twamp connection コマンドは、**no debug ip sla error twamp connection** コマンドと同じです。



(注)

debug ip sla error twamp connection コマンドではデバッグ出力が比較的少なく生成されるため、**debug ip sla trace twamp connection** コマンドを使用する前に、**debug ip sla error twamp connection** コマンドを使用します。

debug ip sla error twamp connection コマンドは IPv4 ネットワークでサポートされます。

関連コマンド

コマンド	説明
debug ip sla error twamp control reflector	IP SLA TWAMP サーバとリフレクタとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla error twamp control server	IP SLA TWAMP サーバとリフレクタとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla error twamp session	IP SLA TWAMP 送信元とリフレクタとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla trace twamp connection	IP SLA TWAMP クライアントとサーバ間の正常な通信を表示します。

debug ip sla trace twamp control reflector	IP SLA TWAMP リフレクタによって送信された TWAMP サーバへの正常な通信を表示します。
debug ip sla trace twamp control server	IP SLA TWAMP サーバによって送信された TWAMP リフレクタへの正常な通信を表示します。
debug ip sla trace twamp session	IP SLA TWAMP 送信元とリフレクタ間の正常な通信を表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug ip sla error twamp control reflector

Cisco IOS IP Service Level Agreement (SLA; サービス レベル契約) Two-Way Active Measurement Protocol (TWAMP; 双方向アクティブ測定プロトコル) のデバッグ出力をイネーブルにするには、**debug ip sla error twamp control reflector** コマンドを特権 EXEC モードで使用します。このデバッグ出力は、TWAMP サーバとリフレクタとの通信中に発生する例外を示します。デバッグ出力をディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug ip sla error twamp control reflector

no debug ip sla error twamp control reflector

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

debug ip sla error twamp control reflector 特権 EXEC コマンドでは、TWAMP セッション リフレクタから TWAMP セッション サーバへの通信中に発生した例外に関するメッセージが表示されます。



(注)

debug ip sla error twamp control reflector コマンドではデバッグ出力が比較的少なく生成されるため、**debug ip sla trace twamp control reflector** コマンドを使用する前に、**debug ip sla error twamp control reflector** コマンドを使用します。

debug ip sla error twamp control reflector コマンドは IPv4 ネットワークでサポートされます。

undebug ip sla error twamp control reflector コマンドは、**no debug ip sla error twamp control reflector** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
debug ip sla error twamp connection	IP SLA TWAMP クライアントとサーバとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla error twamp control server	IP SLA TWAMP サーバとリフレクタとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla error twamp session	IP SLA TWAMP 送信元とリフレクタとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla trace twamp connection	IP SLA TWAMP クライアントとサーバ間の正常な通信を表示します。
debug ip sla trace twamp control reflector	IP SLA TWAMP リフレクタによって送信された TWAMP サーバへの正常な通信を表示します。

debug ip sla trace twamp control server	IP SLA TWAMP サーバによって送信された TWAMP リフレクタへの正常な通信を表示します。
debug ip sla trace twamp session	IP SLA TWAMP 送信元とリフレクタ間の正常な通信を表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。

debug ip sla error twamp control server

TWAMP サーバとリフレクタとの通信中に発生する Cisco IOS IP Service Level Agreement (SLA; サービス レベル契約) Two-Way Active Measurement Protocol (TWAMP; 双方向アクティブ測定プロトコル) 例外のデバッグ出力をイネーブルにするには、**debug ip sla error twamp control server** コマンドを特権 EXEC モードで使用します。デバッグ出力をディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug ip sla error twamp control server

no debug ip sla error twamp control server

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

debug ip sla error twamp control server 特権 EXEC コマンドでは、TWAMP セッション サーバから TWAMP セッション リフレクタへの通信中に発生した例外に関するメッセージが表示されます。



(注)

debug ip sla error twamp control server コマンドではデバッグ出力が比較的少なく生成されるため、**debug ip sla trace twamp control server** コマンドを使用する前に、**debug ip sla error twamp control server** コマンドを使用します。

debug ip sla error twamp control server コマンドは IPv4 ネットワークでサポートされます。

undebug ip sla error twamp control server コマンドは、**no debug ip sla error twamp control server** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
debug ip sla error twamp connection	IP SLA TWAMP クライアントとサーバとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla error twamp control reflector	IP SLA TWAMP サーバとリフレクタとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla error twamp session	IP SLA TWAMP 送信元とリフレクタとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla trace twamp connection	IP SLA TWAMP クライアントとサーバ間の正常な通信を表示します。
debug ip sla trace twamp control reflector	IP SLA TWAMP リフレクタによって送信された TWAMP サーバへの正常な通信を表示します。

debug ip sla trace twamp control server	IP SLA TWAMP サーバによって送信された TWAMP リフレクタへの正常な通信を表示します。
debug ip sla trace twamp session	IP SLA TWAMP 送信元とリフレクタ間の正常な通信を表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。

debug ip sla error twamp session

Cisco IOS IP サービス レベル契約 (SLA) 双方向アクティブ測定プロトコル (TWAMP) のデバッグ出力をイネーブルにするには、**debug ip sla error twamp session** コマンドを特権 EXEC モードで使します。このデバッグ出力は、TWAMP 送信元とリフレクタとの通信中に発生する例外を示します。デバッグ出力をディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug ip sla error twamp session [**source-ip** *ip-address*]

no debug ip sla error twamp session [**source-ip** *ip-address*]

構文の説明

source-ip *ip-address* (任意) 指定したソースの IP Performance Metrics (IPPM; IP パフォーマンスメトリック) TWAMP 接続をデバッグします。クライアント デバイスの IP アドレスを使用するソースを指定します。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

debug ip sla error twamp session 特権 EXEC コマンドは、TWAMP 送信元とリフレクタとの通信に関するエラー メッセージを表示します。



(注)

debug ip sla error twamp session コマンドではデバッグ出力が比較的少なく生成されるため、**debug ip sla trace twamp session** コマンドを使用する前に、**debug ip sla error twamp session** コマンドを使用します。

debug ip sla error twamp session コマンドは IPv4 ネットワークでサポートされます。

undebug ip sla error twamp session コマンドは、**no debug ip sla error twamp session** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
debug ip sla error twamp connection	IP SLA TWAMP クライアントとサーバとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla error twamp control reflector	IP SLA TWAMP サーバとリフレクタとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla error twamp control server	IP SLA TWAMP サーバとリフレクタとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla trace twamp connection	IP SLA TWAMP クライアントとサーバ間の正常な通信を表示します。
debug ip sla trace twamp control reflector	IP SLA TWAMP リフレクタによって送信された TWAMP サーバへの正常な通信を表示します。

debug ip sla trace twamp control server	IP SLA TWAMP サーバによって送信された TWAMP リフレクタへの正常な通信を表示します。
debug ip sla trace twamp control server	IP SLA TWAMP 送信元とリフレクタ間の正常な通信を表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。

debug ip sla trace twamp connection

Cisco IOS IP Service Level Agreement (SLA; サービス レベル契約) Two-Way Active Measurement Protocol (TWAMP; 双方向アクティブ測定プロトコル) クライアントとサーバとの正常な通信を表示するには、**debug ip sla trace twamp connection** コマンドを特権 EXEC モードで使用します。デバッグ出力をディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug ip sla trace twamp connection [**source-ip** *ip-address*]

no debug ip sla trace twamp connection [**source-ip** *ip-address*]

構文の説明

source-ip *ip-address* (任意) 指定したソースの IP Performance Metrics (IPPM; IP パフォーマンス メトリック) TWAMP 接続をデバッグします。クライアント デバイスの IP アドレスを使用するソースを指定します。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

debug ip sla trace twamp connection 特権 EXEC コマンドでは、TWAMP セッション中のクライアントとサーバとの正常な通信に関するメッセージが表示されます。



(注)

debug ip sla error twamp connection コマンドではデバッグ出力が比較的少なく生成されるため、**debug ip sla trace twamp connection** コマンドを使用する前に、**debug ip sla error twamp connection** コマンドを使用します。

debug ip sla trace twamp connection コマンドは IPv4 ネットワークでサポートされます。

undebug ip sla trace twamp connection コマンドは、**no debug ip sla trace twamp connection** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
debug ip sla error twamp connection	IP SLA TWAMP クライアントとサーバとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla error twamp control reflector	IP SLA TWAMP サーバとリフレクタとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla error twamp control server	IP SLA TWAMP サーバとリフレクタとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla error twamp session	IP SLA TWAMP 送信元とリフレクタとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla trace twamp control reflector	IP SLA TWAMP リフレクタによって送信された TWAMP サーバへの正常な通信を表示します。

debug ip sla trace twamp control server	IP SLA TWAMP サーバによって送信された TWAMP リフレクタへの正常な通信を表示します。
debug ip sla trace twamp session	IP SLA TWAMP 送信元とリフレクタ間の正常な通信を表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。

debug ip sla trace twamp control reflector

TWAMP サーバとリフレクタとの間における Cisco IOS IP Service Level Agreement (SLA; サービスレベル契約) Two-Way Active Measurement Protocol (TWAMP; 双方向アクティブ測定プロトコル) の正常な通信のデバッグ出力をイネーブルにするには、**debug ip sla trace twamp control reflector** コマンドを特権 EXEC モードで使用します。デバッグ出力をディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug ip sla trace twamp control reflector

no debug ip sla trace twamp control reflector

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

debug ip sla trace twamp control reflector 特権 EXEC コマンドは、リフレクタからサーバに送信された通常の TWAMP セッションの通信に関するメッセージを表示します。



(注)

debug ip sla error twamp control reflector コマンドではデバッグ出力が比較的少なく生成されるため、**debug ip sla trace twamp control reflector** コマンドを使用する前に、**debug ip sla error twamp control reflector** コマンドを使用します。

debug ip sla trace twamp control reflector コマンドは IPv4 ネットワークでサポートされます。

undebug ip sla trace twamp control reflector コマンドは、**no debug ip sla trace twamp control reflector** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
debug ip sla error twamp connection	IP SLA TWAMP クライアントとサーバとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla error twamp control reflector	IP SLA TWAMP サーバとリフレクタとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla error twamp control server	IP SLA TWAMP サーバとリフレクタとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla error twamp session	IP SLA TWAMP 送信元とリフレクタとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla trace twamp connection	IP SLA TWAMP クライアントとサーバ間の正常な通信を表示します。

debug ip sla trace twamp control server	IP SLA TWAMP サーバによって送信された TWAMP リフレクタへの正常な通信を表示します。
debug ip sla trace twamp session	IP SLA TWAMP 送信元とリフレクタ間の正常な通信を表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。

debug ip sla trace twamp control server

TWAMP サーバとリフレクタとの間における Cisco IOS IP Service Level Agreement (SLA; サービスレベル契約) Two-Way Active Measurement Protocol (TWAMP; 双方向アクティブ測定プロトコル) の正常な通信のデバッグ出力をイネーブルにするには、**debug ip sla trace twamp control server** コマンドを特権 EXEC モードで使用します。デバッグ出力をディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug ip sla trace twamp control server

no debug ip sla trace twamp control server

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

debug ip sla trace twamp control server 特権 EXEC コマンドは、サーバからリフレクタに送信された通常の TWAMP セッションの通信に関するメッセージを表示します。



(注)

debug ip sla error twamp control server コマンドではデバッグ出力が比較的少なく生成されるため、**debug ip sla trace twamp control server** コマンドを使用する前に、**debug ip sla error twamp control server** コマンドを使用します。

debug ip sla trace twamp control server コマンドは IPv4 ネットワークでサポートされます。

undebug ip sla trace twamp control server コマンドは、**no debug ip sla trace twamp control server** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
debug ip sla error twamp connection	IP SLA TWAMP クライアントとサーバとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla error twamp control reflector	IP SLA TWAMP サーバとリフレクタとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla error twamp control server	IP SLA TWAMP サーバとリフレクタとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla error twamp session	IP SLA TWAMP 送信元とリフレクタとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla trace twamp connection	IP SLA TWAMP クライアントとサーバ間の正常な通信を表示します。

debug ip sla trace twamp control reflector	IP SLA TWAMP リフレクタによって送信された TWAMP サーバへの正常な通信を表示します。
debug ip sla trace twamp session	IP SLA TWAMP 送信元とリフレクタ間の正常な通信を表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。

debug ip sla trace twamp session

TWAMP 送信元とリフレクタとの間における Cisco IOS IP サービス レベル契約 (SLA) 双方向アクティブ測定プロトコル (TWAMP) の通常のセッション通信のデバッグ出力をイネーブルにするには、**debug ip sla trace twamp session** コマンドを特権 EXEC モードで使用します。デバッグ出力をディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug ip sla trace twamp session [**source-ip** *ip-address* | **source-port** *port-number*]

no debug ip sla trace twamp session [**source-ip** *ip-address* | **source-port** *port-number*]

構文の説明

source-ip <i>ip-address</i>	(任意) 指定したソースの IP Performance Metrics (IPPM; IP パフォーマンスメトリック) TWAMP 接続をデバッグします。クライアント デバイスの IP アドレスを使用するソースを指定します。
source-port <i>port-number</i>	(任意) 指定したポートの IP パフォーマンス メトリック (IPPM) TWAMP 接続をデバッグします。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

debug ip sla trace twamp session 特権 EXEC コマンドは、TWAMP 送信元とリフレクタとの通常のセッション通信を表示します。



(注)

debug ip sla error twamp session コマンドではデバッグ出力が比較的少なく生成されるため、**debug ip sla trace twamp session** コマンドを使用する前に、**debug ip sla error twamp session** コマンドを使用します。

debug ip sla trace twamp session コマンドは IPv4 ネットワークでサポートされます。

undebug ip sla trace twamp session コマンドは、**no debug ip sla trace twamp session** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
debug ip sla error twamp connection	IP SLA TWAMP クライアントとサーバとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla error twamp control reflector	IP SLA TWAMP サーバとリフレクタとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla error twamp control server	IP SLA TWAMP サーバとリフレクタとの通信中に起こる例外を表示します。
debug ip sla error twamp session	IP SLA TWAMP 送信元とリフレクタとの通信中に起こる例外を表示します。

debug ip sla trace twamp connection	IP SLA TWAMP クライアントとサーバ間の正常な通信を表示します。
debug ip sla trace twamp control reflector	IP SLA TWAMP リフレクタによって送信された TWAMP サーバへの正常な通信を表示します。
debug ip sla trace twamp control server	IP SLA TWAMP サーバによって送信された TWAMP リフレクタへの正常な通信を表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug ip verify source packet

IP 送信元ガードのデバッグをイネーブルにするには、**debug ip verify source packet** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug ip verify source packet

no debug ip verify source packet

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg ip verify source packet コマンドは、**no debug ip verify source packet** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug lacp

Link Aggregation Control Protocol (LACP) のアクティビティのデバッグをイネーブルにするには、**debug lacp** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug lacp [all | event | fsm | misc | packet]

no debug lacp [all | event | fsm | misc | packet]



(注) LACP を使用できるのは、ネットワーク ノード インターフェイス (NNI) および拡張ネットワーク インターフェイス (ENI) 上だけです。

構文の説明

all	(任意) LACP デバッグ メッセージをすべて表示します。
event	(任意) LACP イベント デバッグ メッセージを表示します。
fsm	(任意) LACP 有限ステート マシン デバッグ メッセージを表示します。
misc	(任意) 各種 LACP デバッグ メッセージを表示します。
packet	(任意) LACP パケット デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug lacp コマンドは、**no debug lacp** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show lacp	LACP チャネル グループ情報を表示します。

debug mac-notification

MAC 通知イベントのデバッグをイネーブルにするには、**debug mac-notification** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug mac-notification

no debug mac-notification

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg mac-notification コマンドは、**no debug mac-notification** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show mac address-table notification	すべてのインターフェイスまたは指定されたインターフェイスに対する MAC アドレス通知情報を表示します。

debug matm

プラットフォーム独立 MAC アドレス管理のデバッグをイネーブルにするには、**debug matm** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug matm

no debug matm

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug matm コマンドは、**no debug matm** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
debug platform matm	プラットフォームに依存する MAC アドレス管理に関する情報を表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。

debug matm move update

MAC アドレス テーブル移行更新メッセージ処理のデバッグをイネーブルにするには、**debug matm move update** 特権 EXEC コマンドを使用します。

debug matm move update

no debug matm move update

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug matm move update コマンドは、**no debug matm move update** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
mac address-table move update	スイッチに MAC アドレス テーブル移行更新機能を設定します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show mac address-table move update	スイッチに MAC アドレス テーブル移行更新情報を表示します。

debug monitor

Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチド ポート アナライザ) 機能のデバッグをイネーブルにするには、**debug monitor** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug monitor {all | errors | idb-update | info | list | notifications | platform | requests | snmp}
```

```
no debug monitor {all | errors | idb-update | info | list | notifications | platform | requests | snmp}
```

構文の説明

all	すべての SPAN デバッグ メッセージを表示します。
errors	詳細 SPAN エラー デバッグ メッセージを表示します。
idb-update	SPAN Interface Description Block (IDB; インターフェイス デスクリプション ブロック) 更新トレース デバッグ メッセージを表示します。
info	SPAN 情報追跡デバッグ メッセージを表示します。
list	SPAN ポートおよび VLAN リスト追跡デバッグ メッセージを表示します。
notifications	SPAN 通知デバッグ メッセージを表示します。
platform	SPAN プラットフォーム追跡デバッグ メッセージを表示します。
requests	SPAN 要求デバッグ メッセージを表示します。
snmp	SPAN および Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) 追跡デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug monitor コマンドは、**no debug monitor** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show monitor	スイッチ上の SPAN および Remote SPAN (RSPAN) セッションについてのすべての情報を表示します。

debug mvrdbg

Multicast VLAN Registration (MVR) のデバッグをイネーブルにするには、**debug mvrdbg** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug mvrdbg {all | events | igmpsn | management | ports}
```

```
no debug mvrdbg {all | events | igmpsn | management | ports}
```

構文の説明

all	MVR アクティビティ デバッグ メッセージをすべて表示します。
events	MVR イベント処理デバッグ メッセージを表示します。
igmpsn	MVR Internet Group Management Protocol (IGMP; インターネット グループ管理プロトコル) スヌーピング アクティビティ デバッグ メッセージを表示します。
management	MVR 管理アクティビティ デバッグ メッセージを表示します。
ports	MVR ポート デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug mvrdbg コマンドは、**no debug mvrdbg** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show mvr	現在の MVR 設定を表示します。

debug nvram

NVRAM のアクティビティのデバッグをイネーブルにするには、**debug nvram** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug nvram

no debug nvram

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug nvram コマンドは、**no debug nvram** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug pagp

Port Aggregation Protocol (PAgP; ポート集約プロトコル) のアクティビティのデバッグをイネーブルにするには、**debug pagp** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug pagp [all | event | fsm | misc | packet]

no debug pagp [all | event | fsm | misc | packet]



(注)

PAgP を使用できるのは、ネットワーク ノード インターフェイス (NNI) および拡張ネットワーク インターフェイス (ENI) 上だけです。

構文の説明

all	(任意) PAgP デバッグ メッセージをすべて表示します。
event	(任意) PAgP イベント デバッグ メッセージを表示します。
fsm	(任意) PAgP 有限ステート マシン デバッグ メッセージを表示します。
misc	(任意) 各種 PAgP デバッグ メッセージを表示します。
packet	(任意) PAgP パケット デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug pagp コマンドは、**no debug pagp** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show pagp	PAgP チャネル グループ情報を表示します。

debug platform acl

Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) マネージャのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform acl** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform acl {all | exit | label | main | vacl | vlmmap | warn}
```

```
no debug platform acl {all | exit | label | main | vacl | vlmmap | warn}
```

構文の説明

all	ACL マネージャ デバッグ メッセージをすべて表示します。
exit	ACL 終了関連デバッグ メッセージを表示します。
label	ACL ラベル関連デバッグ メッセージを表示します。
main	主な、または重要な ACL デバッグ メッセージを表示します。
racl	ルータ ACL 関連デバッグ メッセージを表示します。
vacl	VLAN ACL 関連デバッグ メッセージを表示します。
vlmap	ACL VLAN マップ関連デバッグ メッセージを表示します。
warn	ACL 警告関連デバッグ メッセージを表示します。



(注)

stack キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtringには表示されていますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform acl コマンドは、**no debug platform acl** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform cfm

イーサネット接続障害管理（CFM）サービスのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform cfm** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform cfm

no debug platform cfm

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

CFM は、サービス インスタンス単位のエンドツーエンド イーサネット レイヤ運用管理および保守（OAM）プロトコルです。大規模イーサネット ネットワークに接続モニタリング、障害検証、および障害隔離を提供します。

undebug platform cfm コマンドは、**no debug platform cfm** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform backup interface

Flex Link プラットフォーム バックアップ インターフェイスのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform backup interface** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform backup interface

no debug platform backup interface

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

プラットフォーム バックアップ インターフェイス デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform backup interface コマンドは、**no platform debug backup interface** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform cpu-queues

プラットフォーム CPU 受信キューのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform cpu-queues** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform cpu-queues {broadcast-q | cbt-to-spt-q | cpuhub-q | host-q | icmp-q |
  igmp-snooping-q | layer2-protocol-q | logging-q | remote-console-q |
  routing-protocol-q | rpffail-q | software-fwd-q | stp-q}
```

```
no debug platform cpu-queues {broadcast-q | cbt-to-spt-q | cpuhub-q | host-q | icmp-q
  | igmp-snooping-q | layer2-protocol-q | logging-q | remote-console-q |
  routing-protocol-q | rpffail-q | software-fwd-q | stp-q}
```

構文の説明

broadcast-q	ブロードキャスト キューによって受信されたパケットに関するデバッグ メッセージを表示します。
cbt-to-spt-q	core-based tree to shortest-path tree (cbt-to-spt) キューによって受信されたパケットに関するデバッグ メッセージを表示します。
cpuhub-q	CPU ハートビート キューによって受信されたパケットに関するデバッグ メッセージを表示します。
host-q	ホスト キューによって受信されたパケットに関するデバッグ メッセージを表示します。
icmp-q	Internet Control Message Protocol (ICMP; インターネット制御メッセージ プロトコル) キューによって受信されたパケットに関するデバッグ メッセージを表示します。
igmp-snooping-q	Internet Group Management Protocol (IGMP; インターネット グループ管理プロトコル) スヌーピング キューによって受信されたパケットに関するデバッグ メッセージを表示します。
layer2-protocol-q	レイヤ 2 プロトコル キューによって受信されたパケットに関するデバッグ メッセージを表示します。
logging-q	ロギング キューによって受信されたパケットに関するデバッグ メッセージを表示します。
remote-console-q	リモート コンソール キューによって受信されたパケットに関するデバッグ メッセージを表示します。
routing-protocol-q	ルーティング プロトコル キューによって受信されたパケットに関するデバッグ メッセージを表示します。
rpffail-q	Reverse Path Forwarding (RPF; リバース パス転送) 障害キューによって受信されたパケットに関するデバッグ メッセージを表示します。
software-fwd-q	ソフトウェア フォワーディング キューによって受信されたパケットをデバッグします。
stp-q	Spanning-Tree Protocol (STP; スパニング ツリー プロトコル) キューによって受信されたパケットをデバッグします。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

`undebg platform cpu-queues` コマンドは、`no debug platform cpu-queues` コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform dot1x

IEEE 802.1x イベントのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform dot1x** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform dot1x {initialization | interface-configuration | rpc}

no debug platform dot1x {initialization | interface-configuration | rpc}

構文の説明

initialization	IEEE 802.1x 初期化シーケンス デバッグ メッセージを表示します。
interface-configuration	IEEE 802.1x インターフェイス コンフィギュレーション関連デバッグ メッセージを表示します。
rpc	IEEE 802.1x Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) 要求デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform dot1x コマンドは、**no debug platform dot1x** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform etherchannel

プラットフォームに依存する EtherChannel イベントのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform etherchannel** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform etherchannel {init | link-up | rpc-detailed | rpc-generic | warnings}

no debug platform etherchannel {init | link-up | rpc-detailed | rpc-generic | warnings}

構文の説明

init	EtherChannel モジュール初期化デバッグ メッセージを表示します。
link-up	EtherChannel リンクアップおよびリンクダウンに関連したデバッグ メッセージを表示します。
rpc-detailed	EtherChannel Remote Procedure Call (RPC; リモートプロシージャコール) の詳細なデバッグ メッセージを表示します。
rpc-generic	EtherChannel RPC の一般的なデバッグ メッセージを表示します。
warnings	EtherChannel 警告デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform etherchannel コマンドは、**no debug platform etherchannel** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform forw-tcam

フォワーディング Ternary Content Addressable Memory (TCAM) マネージャのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform forw-tcam** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform forw-tcam [**adjustment** | **allocate** | **audit** | **error** | **move** | **read** | **write**]

no debug platform forw-tcam [**adjustment** | **allocate** | **audit** | **error** | **move** | **read** | **write**]

構文の説明

adjustment	(任意) TCAM マネージャ調整デバッグ メッセージを表示します。
allocate	(任意) TCAM マネージャ割り当てデバッグ メッセージを表示します。
audit	(任意) TCAM マネージャ監査メッセージを表示します。
error	(任意) TCAM マネージャ エラー メッセージを表示します。
move	(任意) TCAM マネージャ移行メッセージを表示します。
read	(任意) TCAM マネージャ読み込みメッセージを表示します。
write	(任意) TCAM マネージャ書き込みメッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

キーワードが指定されない場合、転送 TCAM マネージャ デバッグ メッセージがすべて表示されます。
undebug platform forw-tcam コマンドは、**no debug platform forw-tcam** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform ip arp inspection

ダイナミック Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) 検査イベントをデバッグするには、**debug platform ip arp inspection** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform ip arp inspection {all | error | event | packet | rpc}

no debug platform ip arp inspection {all | error | event | packet | rpc}

構文の説明

all	すべてのダイナミック ARP 検査デバッグ メッセージを表示します。
error	ダイナミック ARP 検査エラー デバッグ メッセージを表示します。
event	ダイナミック ARP 検査イベント デバッグ メッセージを表示します。
packet	ダイナミック ARP 検査パケット関連デバッグ メッセージを表示します。
rpc	ダイナミック ARP 検査 Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャコール) 要求デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg platform ip arp inspection コマンドは、**no debug platform ip arp inspection** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show ip arp inspection	ダイナミック ARP 検査の設定および動作ステータスを表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform ip dhcp

DHCP イベントをデバッグするには、**debug platform ip dhcp** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform ip dhcp [all | error | event | packet | rpc]

no debug platform ip dhcp [all | error | event | packet | rpc]

構文の説明

all	(任意) DHCP デバッグ メッセージをすべて表示します。
error	(任意) DHCP エラー デバッグ メッセージを表示します。
event	(任意) DHCP イベント デバッグ メッセージを表示します。
packet	(任意) DHCP パケット関連デバッグ メッセージを表示します。
rpc	(任意) DHCP Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) 要求デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform ip dhcp コマンドは、**no debug platform ip dhcp** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show ip dhcp snooping	DHCP スヌーピング設定を表示します。
show ip dhcp snooping binding	DHCP スヌーピング バインディング情報を表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform ip igmp snooping

プラットフォーム依存型 Internet Group Management Protocol (IGMP; インターネット グループ管理 プロトコル) スヌーピングのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform ip igmp snooping** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform ip igmp snooping {all | di | error | event | group | mgmt | pak | retry | rpc | warn}
```

```
debug platform ip igmp snooping pak {ip-address | error | ipopt | leave | query | report | rx | svi | tx}
```

```
debug platform ip igmp snooping rpc [cfg | misc | vlan]
```

```
no debug platform ip igmp snooping {all | di | error | event | group | mgmt | pak | retry | rpc | warn}
```

構文の説明

all	すべての IGMP スヌーピング デバッグ メッセージを表示します。
di	IGMP スヌーピング宛先インデックス (di) 調整 Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) デバッグ メッセージを表示します。
error	IGMP スヌーピング エラー メッセージを表示します。
event	IGMP スヌーピング イベント デバッグ メッセージを表示します。
group	IGMP スヌーピング グループ デバッグ メッセージを表示します。
mgmt	IGMP スヌーピング管理デバッグ メッセージを表示します。
pak { <i>ip-address</i> error ipopt leave query report rx svi tx }	<p>IGMP スヌーピング パケット イベント デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>ip-address</i> : IGMP グループの IP アドレス • error : IGMP スヌーピング パケット エラー デバッグ メッセージを表示します。 • ipopt : IGMP スヌーピング IP ブリッジング オプション デバッグ メッセージを表示します。 • leave : IGMP スヌーピング脱退デバッグ メッセージを表示します。 • query : IGMP スヌーピング クエリー デバッグ メッセージを表示します。 • report : IGMP スヌーピング レポート デバッグ メッセージを表示します。 • rx : IGMP スヌーピング受信パケット デバッグ メッセージを表示します。 • svi : IGMP スヌーピング Switched Virtual Interface (SVI; スイッチ仮想インターフェイス) パケット デバッグ メッセージを表示します。 • tx : IGMP スヌーピング送信パケット デバッグ メッセージを表示します。
private-vlan	IGMP スヌーピング プライベート VLAN メッセージを表示します。
retry	IGMP スヌーピング リトライ デバッグ メッセージを表示します。

■ debug platform ip igmp snooping

rpc [cfg l3mm misc vlan]	IGMP スヌーピング Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャコール) イベント デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • cfg : (任意) IGMP スヌーピング RPC デバッグ メッセージを表示します。 • l3mm : (任意) IGMP スヌーピング レイヤ 3 マルチキャスト ルータ グループ RPC デバッグ メッセージを表示します。 • misc : (任意) IGMP スヌーピングのその他の RPC デバッグ メッセージを表示します。 • vlan : (任意) IGMP スヌーピング VLAN アサート RPC デバッグ メッセージ
warn	IGMP スヌーピング警告メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン **debug platform ip igmp snooping** コマンドは、**no debug platform ip igmp snooping** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	debug ip igmp snooping	プラットフォーム独立 IGMP スヌーピング アクティビティに関する情報を表示します。
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform ip multicast

IP マルチキャストルーティングのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform ip multicast** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform ip multicast {acl-full-events | all | mdb | mdfs-rp-retry | midb |
mroute-rp | resources | retry | rpf-throttle | snoop-events | software-forward |
swidb-events | vlan-locks}
```

```
no debug platform ip multicast {acl-full-events | all | mdb | mdfs-rp-retry | midb |
mroute-rp | resources | retry | rpf-throttle | snoop-events | software-forward |
swidb-events | vlan-locks}
```

構文の説明

acl-full-events	IP-multicast 出力 ACL の完全なデバッグ メッセージを表示します。
all	すべてのプラットフォームの IP マルチキャスト イベント デバッグ メッセージを表示します。 (注) このコマンドを使用すると、スイッチのパフォーマンスが悪化する可能性があります。
mdb	Multicast Distributed Fast Switching (MDFS) の Multicast Descriptor Block (MDB) イベントの IP マルチキャスト デバッグ メッセージを表示します。
mdfs-rp-retry	IP マルチキャスト MDFS の Rendezvous Point (RP; ランデブー ポイント) のリトライ イベント デバッグ メッセージを表示します。
midb	IP マルチキャスト MDFS の Multicast Interface Descriptor Block (MIDB) のデバッグ メッセージを表示します。
mroute-rp	IP マルチキャスト RP イベントのデバッグ メッセージを表示します。
resources	IP マルチキャスト ハードウェア リソースのデバッグ メッセージを表示します。
retry	IP マルチキャスト リトライ処理イベントのデバッグ メッセージを表示します。
rpf-throttle	IP マルチキャストの Reverse Path Forwarding (RPF; リバース パス転送) スロットル イベントのデバッグ メッセージを表示します。
snoop-events	IP マルチキャスト IGMP スヌーピング イベントのデバッグ メッセージを表示します。
software-forward	IP マルチキャスト ソフトウェア転送イベントのデバッグ メッセージを表示します。
swidb-events	IP マルチキャスト MDFS の Software Interface Descriptor Block (SWIDB) またはグローバル イベントのデバッグ メッセージを表示します。
vlan-locks	IP マルチキャスト VLAN ロックおよびロック解除イベントのデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

■ debug platform ip multicast

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン `undebug platform ip multicast` コマンドは、`no debug platform ip multicast` コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform ip source-guard

IP 送信元ガード イベントをデバッグするには、**debug platform ip source-guard** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform ip source-guard {all | error | event}
```

```
no debug platform ip source-guard {all | error | event}
```

構文の説明

all	すべての IP 送信元ガード プラットフォーム デバッグ メッセージを表示します。
error	IP 送信元ガード プラットフォーム エラー デバッグ メッセージを表示します。
event	IP 送信元ガード プラットフォーム イベント デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform ip source-guard コマンドは、**no debug platform ip source-guard** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show ip verify source	IP 送信元ガードの設定を表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform ip unicast

プラットフォームに依存する IP ユニキャスト ルーティングのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform ip unicast** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform ip unicast {adjacency | all | arp | dhcp | errors | events | interface | mpath | registries | retry | route | rpc | standby | statistics}

no debug platform ip unicast {adjacency | all | arp | dhcp | errors | events | interface | mpath | registries | retry | route | rpc | standby | statistics}

構文の説明

adjacency	IP ユニキャスト ルーティング隣接プログラミング イベントのデバッグ メッセージを表示します。
all	すべてのプラットフォームの IP ユニキャスト ルーティングのデバッグ メッセージを表示します。 (注) このコマンドを使用すると、スイッチのパフォーマンスが悪化する可能性があります。
arp	IP ユニキャスト ルーティングの Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) および ARP スロットリングのデバッグ メッセージを表示します。
dhcp	IP ユニキャスト ルーティング DHCP ダイナミック アドレス関連イベントのデバッグ メッセージを表示します。
errors	すべての IP ユニキャスト ルーティング エラーのデバッグ メッセージ (リソース割り当てエラーを含む) を表示します。
events	すべての IP ユニキャスト ルーティング イベントのデバッグ メッセージ (レジストリ および各種イベントを含む) を表示します。
interface	IP ユニキャスト ルーティング インターフェイス イベントのデバッグ メッセージを表示します。
mpath	IP ユニキャスト ルーティング マルチパス隣接プログラミング イベントのデバッグ メッセージ (等価または不等価コスト ルーティングの実行時に発生) を表示します。
registries	IP ユニキャスト ルーティング Forwarding Information Database (FIB; 転送情報ベース)、隣接の追加、更新、および削除レジストリ イベントのデバッグ メッセージを表示します。
retry	Ternary Content Addressable Memory (TCAM) の割り当てエラーの発生した IP ユニキャスト ルーティング プログラム FIB のデバッグ メッセージを表示します。
route	IP ユニキャスト ルーティング FIB TCAM プログラミング イベントのデバッグ メッセージを表示します。
rpc	IP ユニキャスト ルーティング レイヤ 3 ユニキャスト Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) 相互作用のデバッグ メッセージを表示します。
standby	Hot Standby Routing Protocol (HSRP; ホットスタンバイ ルータ プロトコル) の問題発生時のトラブルシューティングに役立つ、IP ユニキャスト ルーティング スタンバイ イベントのデバッグ メッセージを表示します。
statistics	IP ユニキャスト ルーティング統計情報収集関連イベントのデバッグ メッセージを表示します。
table	IP ユニキャスト ルーティング IPv4 テーブル デバッグ メッセージを表示します。
vrf	IP ユニキャスト ルーティング VRF デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン `undebg platform ip unicast` コマンドは、`no debug platform ip unicast` コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform ipc

プラットフォーム依存 Interprocess Communication (IPC; プロセス間通信) プロトコルのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform ipc** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform ipc {all | init | receive | send | trace}

no debug platform {all | init | receive | send | trace}

構文の説明

all	すべてのプラットフォーム IPC デバッグ メッセージを表示します。 (注) このコマンドを使用すると、スイッチのパフォーマンスが悪化する可能性があります。
init	IPC 初期化関連デバッグ メッセージを表示します。
receive	IPC パケットがスイッチで受信されるたびに IPC 追跡を表示します。
send	IPC パケットをスイッチが送信するたびに IPC 追跡を表示します。
trace	IPC 機能の実行に従いコードパスを追跡する IPC 追跡デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg platform ipc コマンドは、**no debug platform ipc** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform led

Light-Emitting Diode (LED) 動作のデバッグをイネーブルにするには、**debug platform led** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform led {generic | signal}
```

```
no debug platform led {generic | signal}
```

構文の説明

generic	LED 総称アクション デバッグ メッセージを表示します。
signal	LED 信号ビット マップ デバッグ メッセージを表示します。



(注)

stack キーワードは、コマンドラインのヘルプ ストリングには表示されていますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform led コマンドは、**no debug platform led** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform matm

プラットフォームに依存する MAC アドレス管理のデバッグをイネーブルにするには、**debug platform matm** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform matm {aging | all | ec-aging | errors | learning | rpc | secure-address |
                    warnings}
```

```
no debug platform matm {aging | all | ec-aging | errors | learning | rpc | secure-address
                       | warnings}
```

構文の説明

aging	MAC アドレス エージング デバッグ メッセージを表示します。
all	すべてのプラットフォーム MAC アドレス管理イベント デバッグ メッセージを表示します。
ec-aging	EtherChannel アドレス エージング関連デバッグ メッセージを表示します。
errors	MAC アドレス管理エラー メッセージを表示します。
learning	MAC アドレス管理アドレス ラーニング デバッグ メッセージを表示します。
rpc	MAC アドレス管理 Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) 関連デバッグ メッセージを表示します。
secure-address	MAC アドレス管理セキュア アドレス ラーニング デバッグ メッセージを表示します。
warning	MAC アドレス管理警告メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform matm コマンドは、**no debug platform matm** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
debug matm	プラットフォーム独立 MAC アドレス管理に関する情報を表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform messaging application

アプリケーション メッセージング アクティビティのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform messaging application** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform messaging application {all | badpak | cleanup | events | memerr | messages | usererr}

no debug platform messaging application {all | badpak | cleanup | events | memerr | messages | usererr}

構文の説明

all	すべてのアプリケーション メッセージング デバッグ メッセージを表示します。
badpak	不良パケット デバッグ メッセージを表示します。
cleanup	クリーンアップ デバッグ メッセージを表示します。
events	イベント デバッグ メッセージを表示します。
memerr	メモリ エラー デバッグ メッセージを表示します。
messages	アプリケーション メッセージング デバッグ メッセージを表示します。
usererr	ユーザ エラー デバッグ メッセージを表示します。



(注)

stackchg キーワードは、コマンドラインのヘルプ ストリングには表示されていますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform messaging application コマンドは、**no debug platform messaging application** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform phy

PHY ドライバ情報のデバッグをイネーブルにするには、**debug platform phy** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform phy {automdix | cablediag | dual-purpose | flcd {configure | ipc | iter |
  trace} | flowcontrol | forced | init-seq | link-status | read | sfp | show-controller | speed
  | write}
```

```
no debug platform phy {automdix | cablediag | dual-purpose | flcd {configure | ipc | iter
  | trace} | flowcontrol | forced | init-seq | link-status | read | sfp | show-controller |
  speed | write}
```

構文の説明

automdix	PHY Automatic Medium-Dependent Interface Crossover (Auto-MDIX) デバッグ メッセージを表示します。
cablediag	PHY ケーブル診断デバッグ メッセージを表示します。
dual-purpose	デュアルパーパス PHY イベントを表示します。
flcd {configure ipc iter trace}	PHY FLCD デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • configure : PHY 設定デバッグ メッセージを表示します。 • ipc : プロセス間通信 (IPC) デバッグ メッセージを表示します。 • iter : iter デバッグ メッセージを表示します。 • trace : 追跡デバッグ メッセージを表示します。
flowcontrol	PHY フロー制御デバッグ メッセージを表示します。
forced	PHY 強制モードデバッグ メッセージを表示します。
init-seq	PHY 初期化シーケンス デバッグ メッセージを表示します。
link-status	PHY リンクステータス デバッグ メッセージを表示します。
read	PHY 読み取りデバッグ メッセージを表示します。
sfp	PHY 小型フォーム ファクタ (SFP) モジュール デバッグ メッセージを表示します。
show-controller	PHY show-controller デバッグ メッセージを表示します。
speed	PHY 速度変更デバッグ メッセージを表示します。
write	PHY 書き込みデバッグ メッセージを表示します。



(注)

xenpak キーワードは、コマンドラインのヘルプには表示されますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン `undebg platform phy` コマンドは、`no debug platform phy` コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform pm

プラットフォームに依存するポート マネージャ ソフトウェア モジュールのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform pm** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform pm {all | counters | errdisable | etherchnl | exceptions | hpm-events |
idb-events | if-numbers | ios-events | link-status | platform | pm-events | pm-vectors
[detail] | rpc [general | oper-info | state | vectors | vp-events] | soutput | sync | vlans}
```

```
no debug platform pm {all | counters | errdisable | etherchnl | exceptions | hpm-events |
idb-events | if-numbers | ios-events | link-status | platform | pm-events | pm-vectors
[detail] | rpc [general | oper-info | state | vectors | vp-events] | soutput | sync | vlans}
```

構文の説明

all	すべてのポート マネージャ デバッグ メッセージを表示します。
counters	Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) デバッグ メッセージのカウンタを表示します。
errdisable	errdisable 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
etherchnl	EtherChannel 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
exceptions	システム例外デバッグ メッセージを表示します。
hpm-events	プラットフォーム ポート マネージャ イベント デバッグ メッセージを表示します。
idb-events	Interface Descriptor Block (IDB) 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
if-numbers	インターフェイス番号トランスレーション イベント デバッグ メッセージを表示します。
ios-events	IOS イベントのデバッグ メッセージを表示します。
link-status	インターフェイス リンク検出イベント デバッグ メッセージを表示します。
platform	ポート マネージャ機能イベント デバッグ メッセージを表示します。
pm-events	ポート マネージャ イベント デバッグ メッセージを表示します。
pm-vectors [detail]	ポート マネージャ ベクタ関連イベント デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> detail : ベクタ機能詳細を表示します。
rpc [general oper-info state vectors vp-events]	RPC 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> general : (任意) RPC 一般イベントを表示します。 oper-info : (任意) 操作および情報関連 RPC メッセージを表示します。 state : (任意) 管理および操作関連 RPC メッセージを表示します。 vectors : (任意) ベクタ関連 RPC メッセージを表示します。 vp-events : (任意) 仮想ポート関連イベント RPC メッセージを表示します。
soutput	IDB 出力ベクタ イベント デバッグ メッセージを表示します。
sync	操作同期および VLAN ラインステート イベント デバッグ メッセージを表示します。
vlans	VLAN 作成および削除イベント デバッグ メッセージを表示します。



(注) **stack-manager** キーワードは、コマンドラインのヘルプ ストリングには表示されていますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform pm コマンドは、**no debug platform pm** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform policer cpu uni-eni

ユーザ ネットワーク インターフェイス (UNI) および拡張ネットワーク インターフェイス (ENI) でコントロールプレーンポリサーのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform policer cpu uni-eni** 特権 EXEC コマンドを使用します。このコマンドにより、CPU 保護に対して何らかの変更があった場合に、情報メッセージが表示されます。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform policer cpu uni-eni

no debug platform policer cpu uni-eni

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg platform policer cpu uni-eni コマンドは、**no debug platform policer cpu uni-eni** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。
show platform policer cpu	機能、インデックス、および特定のポートの対応する機能ごとに、コントロールプレーンポリサーの統計情報を表示します。

debug platform port-asic

ポート Application-Specific Integrated Circuit (ASIC; 特定用途向け集積回路) ドライバのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform port-asic** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform port-asic {interrupt | periodic | read | write}

no debug platform port-asic {interrupt | periodic | read | write}

構文の説明

interrupt	ポート ASIC 割り込み関連機能デバッグ メッセージを表示します。
periodic	ポート ASIC 定期機能コール デバッグ メッセージを表示します。
read	ポート ASIC 読み取りデバッグ メッセージを表示します。
write	ポート ASIC 書き込みデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform port-asic コマンドは、**no debug platform port-asic** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform port-security

プラットフォームに依存するポートセキュリティ情報のデバッグをイネーブルにするには、**debug platform port-security** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform port-security {add | aging | all | delete | errors | rpc | warnings}
```

```
no debug platform port-security {add | aging | all | delete | errors | rpc | warnings}
```

構文の説明

add	セキュア アドレス追加デバッグ メッセージを表示します。
aging	セキュア アドレス エージング デバッグ メッセージを表示します。
all	すべてのポートセキュリティ デバッグ メッセージを表示します。
delete	セキュア アドレス削除デバッグ メッセージを表示します。
errors	ポートセキュリティ エラー デバッグ メッセージを表示します。
rpc	Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) デバッグ メッセージを表示します。
warnings	警告デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform port-security コマンドは、**no debug platform port-security** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform qos-acl-tcam

Quality of Service (QoS) および Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) Ternary Content Addressable Memory (TCAM) マネージャ ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform qos-acl-tcam** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform qos-acl-tcam {all | ctcam | errors | labels | mask | ms-entry | ms-mask |
rpc | tcam}
```

```
no debug platform qos-acl-tcam {all | ctcam | errors | labels | mask | ms-entry | ms-mask
| rpc | tcam}
```

構文の説明

all	すべての QoS および ACL TCAM (QATM) マネージャ デバッグ メッセージを表示します。
ctcam	Cisco TCAM (CTCAM) 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
errors	QATM エラー関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
labels	QATM ラベル関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
mask	QATM マスク関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
ms-entry	QATM MS エントリ関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
ms-mask	QATM MS マスク関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
rpc	QATM Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
tcam	QATM TCAM 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform qos-acl-tcam コマンドは、**no debug platform qos-acl-tcam** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform qos-manager

Quality of Service (QoS) マネージャ ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform qos-manager** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform qos-manager {all | event | verbose}
```

```
no debug platform qos-manager {all | event | verbose}
```

構文の説明

all	QoS マネージャ デバッグ メッセージをすべて表示します。
event	QoS マネージャ イベント デバッグ メッセージを表示します。
verbose	詳細 QoS マネージャ デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform qos-manager コマンドは、**no debug platform qos-manager** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform remote-commands

リモート コマンドのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform remote-commands** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform remote-commands

no debug platform remote-commands

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform remote-commands コマンドは、**no debug platform remote-commands** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform rep

Resilient Ethernet Protocol (REP) のデバッグをイネーブルにするには、**debug platform rep** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform rep

no debug platform rep

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg platform rep コマンドは、**no debug platform rep** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。

debug platform resource-manager

リソース マネージャ ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform resource-manager** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform resource-manager {all | dm | erd | errors | madmed | sd | stats | vld}

no debug platform resource-manager {all | dm | erd | errors | madmed | sd | stats | vld}

構文の説明

all	すべてのリソース マネージャ デバッグ メッセージを表示します。
dm	宛先マップ デバッグ メッセージを表示します。
erd	等価コスト ルート記述子テーブル デバッグ メッセージを表示します。
errors	エラー デバッグ メッセージを表示します。
madmed	MAC アドレス記述子テーブルおよびマルチエクспанション記述子テーブル デバッグ メッセージを表示します。
sd	ステーション記述子テーブル デバッグ メッセージを表示します。
stats	統計デバッグ メッセージを表示します。
vld	VLAN リスト記述子デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg platform resource-manager コマンドは、**no debug platform resource-manager** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform snmp

プラットフォームに依存する Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform snmp** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform snmp

no debug platform snmp

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform snmp コマンドは、**no debug platform snmp** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform span

プラットフォームに依存する Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチドポートアナライザ) ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform span** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform span

no debug platform span

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform span コマンドは、**no debug platform span** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。

debug platform supervisor-asic

スーパーバイザ Application-Specific Integrated Circuit (ASIC; 特定用途向け集積回路) のデバッグをイネーブルにするには、**debug platform supervisor-asic** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform supervisor-asic {all | errors | receive | send}

no debug platform supervisor-asic {all | errors | receive | send}

構文の説明

all	すべてのスーパーバイザ ASIC イベント デバッグ メッセージを表示します。
errors	スーパーバイザ ASIC エラー デバッグ メッセージを表示します。
jumbo	スーパーバイザ ASIC ジャンボ デバッグ メッセージを表示します。
receive	スーパーバイザ ASIC 受信デバッグ メッセージを表示します。
send	スーパーバイザ ASIC 送信デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg platform supervisor-asic コマンドは、**no debug platform supervisor-asic** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform sw-bridge

ソフトウェアブリッジング機能のデバッグをイネーブルにするには、**debug platform sw-bridge** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform sw-bridge {broadcast | control | multicast | packet | unicast}
```

```
no debug platform sw-bridge {broadcast | control | multicast | packet | unicast}
```

構文の説明

broadcast	ブロードキャスト データ デバッグ メッセージを表示します。
control	プロトコル パケット デバッグ メッセージを表示します。
multicast	マルチキャスト データ デバッグ メッセージを表示します。
packet	送受信データ デバッグ メッセージを表示します。
unicast	ユニキャスト データ デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform sw-bridge コマンドは、**no debug platform sw-bridge** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform tcam

Ternary Content Addressable Memory (TCAM) アクセスおよびルックアップのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform tcam** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform tcam {log | read | search | write}
debug platform tcam log l2 {acl {input | output} | local | qos}
debug platform tcam log l3 {acl {input | output} | local | qos | secondary}
debug platform tcam read {reg | ssram | tcam}
debug platform tcam search
debug platform tcam write {forw-ram | reg | tcam}
no debug platform tcam {log | read | search | write}
no debug platform tcam log l2 {acl {input | output} | local | qos}
no debug platform tcam log l3 {acl {input | output} | local | qos | secondary}
no debug platform tcam read {reg | ssram | tcam}
no debug platform tcam search
no debug platform tcam write {forw-ram | reg | tcam}
```

構文の説明

log l2 {acl {input output} local qos}	レイヤ 2 フィールド ベース CAM ルックアップ タイプ デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • acl {input output}: 入力または出力 ACL ルックアップ デバッグ メッセージを表示します。 • local: ローカル フォワーディング ルックアップ デバッグ メッセージを表示します。 • qos: 分類および Quality of Service (QoS) ルックアップ デバッグ メッセージを表示します。
l3 {acl {input output} local qos secondary}	レイヤ 3 フィールド ベース CAM ルックアップ タイプ デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • acl {input output}: 入力または出力 ACL ルックアップ デバッグ メッセージを表示します。 • local: ローカル フォワーディング ルックアップ デバッグ メッセージを表示します。 • qos: 分類および Quality of Service (QoS) ルックアップ デバッグ メッセージを表示します。 • secondary: セカンダリ フォワーディング ルックアップ デバッグ メッセージを表示します。

read {reg ssram tcam}	TCAM 読み取りデバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • reg : TCAM レジスタ読み取りデバッグ メッセージを表示します。 • ssram : Synchronous Static RAM (SSRAM) 読み取りデバッグ メッセージを表示します。 • tcam : TCAM 読み取りデバッグ メッセージを表示します。
search	スーパーバイザ主導 TCAM サーチ結果デバッグ メッセージを表示します。
write {forw-ram reg tcam}	TCAM 書き込みデバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <p>forw-ram : フォワーディング RAM 書き込みデバッグ メッセージを表示します。</p> <p>reg : TCAM レジスタ書き込みデバッグ メッセージを表示します。</p> <p>tcam : TCAM 書き込みデバッグ メッセージを表示します。</p>



(注)

log l3 ipv6 {acl {input | output} | local | qos | secondary} キーワードは、コマンドラインのヘルプストリングに表示されますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg platform tcam コマンドは、**no debug platform tcam** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform uddl

プラットフォームに依存する Unidirectional Link Detection (UDLD; 単方向リンク検出) ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform uddl** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform uddl [all | error | rpc {events | messages}]

no debug platform uddl [all | error | rpc {events | messages}]

構文の説明

all	(任意) UDLD デバッグ メッセージをすべて表示します。
error	(任意) エラー条件デバッグ メッセージを表示します。
rpc {events messages}	(任意) UDLD Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> events : UDLD RPC イベントを表示します。 messages : UDLD RPC メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg platform uddl コマンドは、**no debug platform uddl** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform vlan

VLAN マネージャ ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform vlan** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform vlan {errors | mvid | rpc}
```

```
no debug platform vlan {errors | mvid | rpc}
```

構文の説明

errors	VLAN エラー デバッグ メッセージを表示します。
mvid	マッピングされた VLAN ID の割り当ておよびフリー デバッグ メッセージを表示します。
rpc	Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform vlan コマンドは、**no debug platform vlan** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug pm

Port Manager (PM; ポート マネージャ) アクティビティのデバッグをイネーブルにするには、**debug pm** 特権 EXEC コマンドを使用します。PM は、すべての論理および物理インターフェイスを制御するステート マシンです。VLAN や Unidirectional Link Detection (UDLD; 単方向リンク検出) などを含むすべての機能は、ポート マネージャと連携して、スイッチに機能を提供します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug pm {all | assert | card | cookies | etherchnl | hatable | messages | port | registry |
sm | span | split | vlan | vp}
```

```
no debug pm {all | assert | card | cookies | etherchnl | hatable | messages | port | registry
| sm | span | split | vlan | vp}
```

構文の説明

all	すべての PM デバッグ メッセージを表示します。
assert	アサート デバッグ メッセージを表示します。
card	ラインカード関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
cookies	内部 PM クッキー検証デバッグ メッセージを表示します。
etherchnl	EtherChannel 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
hatable	Host Access Table イベント デバッグ メッセージを表示します。
messages	PM デバッグ メッセージを表示します。
port	ポート関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
registry	PM レジストリ呼び出しデバッグ メッセージを表示します。
sm	ステート マシン関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
span	スパンニング ツリー関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
split	スプリットプロセッサ デバッグ メッセージを表示します。
vlan	VLAN 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
vp	仮想ポート関連イベント デバッグ メッセージを表示します。



(注)

scp および **pvlan** キーワードはコマンドラインのヘルプ スtring に表示されますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug pm コマンドは、**no debug pm** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug port-security

ポートセキュリティサブシステムの割り当ておよびステータスのデバッグをイネーブルにするには、**debug port-security** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug port-security

no debug port-security

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug port-security コマンドは、**no debug port-security** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。
show port-security	インターフェイスまたはスイッチのポートセキュリティ設定を表示します。

debug qos-manager

Quality of Service (QoS) マネージャ ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、**debug qos-manager** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug qos-manager {all | event | verbose}
```

```
no debug qos-manager {all | event | verbose}
```

構文の説明

all	すべての QoS マネージャ デバッグ メッセージを表示します。
event	QoS マネージャ関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
verbose	QoS マネージャ詳細デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg qos-manager コマンドは、**no debug qos-manager** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug scada modbus tcp server

Modicon Communication Bus (MODBUS) TCP ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、**debug scada modbus tcp server** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug scada modbus tcp server {errors | events | verbose}

no debug scada modbus tcp server {errors | events | verbose}

構文の説明

errors	すべての MODBUS TCP サーバ エラーを表示します。
events	MODBUS TCP サーバ関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
verbose	MODBUS TCP サーバの詳細なデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug scada modbus tcp server コマンドは、**no debug scada modbus tcp server** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug spanning-tree

スパニング ツリーのアクティビティのデバッグをイネーブルにするには、**debug spanning-tree** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug spanning-tree {all | bpdu | bpdu-opt | config | etherchannel | events | exceptions |
                    general | mstp | pvst+ | root | snmp | switch | synchronization}
```

```
no debug spanning-tree {all | bpdu | bpdu-opt | config | etherchannel | events | exceptions
                       | general | mstp | pvst+ | root | snmp | switch | synchronization}
```

構文の説明

all	スパニング ツリーのデバッグ メッセージをすべて表示します。
bpdu	スパニング ツリー Bridge Protocol Data Unit (BPDU; ブリッジ プロトコル データ ユニット) デバッグ メッセージを表示します。 debug spanning-tree bpdu コマンドを参照してください。
bpdu-opt	最適化された BPDU 処理デバッグ メッセージを表示します。 debug spanning-tree bpdu-opt コマンドを参照してください
config	スパニング ツリー設定変更デバッグ メッセージを表示します。
etherchannel	EtherChannel サポート デバッグ メッセージを表示します。
events	スパニング ツリー トポロジ イベント デバッグ メッセージを表示します。
exceptions	スパニング ツリー例外デバッグ メッセージを表示します。
general	一般的なスパニング ツリー アクティビティ デバッグ メッセージを表示します。
mstp	Multiple Spanning-Tree Protocol (MSTP) イベントをデバッグします。 debug spanning-tree mstp コマンドを参照してください
pvst+	Per-VLAN Spanning-Tree Plus (PVST+) イベント デバッグ メッセージを表示します。
root	スパニング ツリー ルート イベント デバッグ メッセージを表示します。
snmp	スパニング ツリー Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) 処理デバッグ メッセージを表示します。
switch	スイッチ シム コマンド デバッグ メッセージを表示します。このシムは、一般的な Spanning-Tree Protocol (STP; スパニング ツリー プロトコル) コードと、各スイッチ プラットフォーム固有コードとの間のインターフェイスとなるソフトウェア モジュールです。 debug spanning-tree switch コマンドを参照してください
synchronization	スパニング ツリー同期イベント デバッグ メッセージを表示します。



(注)

backbonefast、**csuf/csrt**、および **uplinkfast** キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtring に表示されますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

■ debug spanning-tree

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン `undebg spanning-tree` コマンドは、`no debug spanning-tree` コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
	<code>show spanning-tree</code>	スパニング ツリー ステート情報を表示します。

debug spanning-tree bpdu

送受信されたスパニング ツリー Bridge Protocol Data Unit (BPDU; ブリッジ プロトコル データ ユニット) のデバッグをイネーブルにするには、**debug spanning-tree bpdu** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug spanning-tree bpdu [receive | transmit]

no debug spanning-tree bpdu [receive | transmit]

構文の説明

receive	(任意) 受信 BPDU 用非最適化パスのデバッグ メッセージを表示します。
transmit	(任意) 送信された BPDU デバッグ メッセージについて、最適化されないパスを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug spanning-tree bpdu コマンドは、**no debug spanning-tree bpdu** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show spanning-tree	スパニング ツリー ステート情報を表示します。

debug spanning-tree bpdu-opt

最適化されたスパニング ツリー Bridge Protocol Data Unit (BPDU; ブリッジ プロトコル データ ユニット) 処理のデバッグをイネーブルにするには、**debug spanning-tree bpdu-opt** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug spanning-tree bpdu-opt [detail | packet]

no debug spanning-tree bpdu-opt [detail | packet]

構文の説明

detail	(任意) 最適化された BPDU 処理デバッグ メッセージの詳細を表示します。
packet	(任意) パケット レベルの最適化された BPDU 処理デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug spanning-tree bpdu-opt コマンドは、**no debug spanning-tree bpdu-opt** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show spanning-tree	スパニング ツリー ステート情報を表示します。

debug spanning-tree mstp

Multiple Spanning-Tree Protocol (MSTP) ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、**debug spanning-tree mstp** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug spanning-tree mstp {all | boundary | bpdu-rx | bpdu-tx | errors | flush | init |
migration | pm | proposals | region | roles | sanity_check | sync | tc | timers}
```

```
no debug spanning-tree mstp {all | boundary | bpdu-rx | bpdu-tx | errors | flush | init |
migration | pm | proposals | region | roles | sanity_check | sync | tc | timers}
```

構文の説明

all	デバッグ メッセージをすべてイネーブルにします。
boundary	次に示す境界上でのフラグ変更をデバッグします。 <ul style="list-style-type: none"> Multiple Spanning-Tree (MST) リージョンと、Rapid Spanning-Tree Protocol (RSTP; 高速スパニング ツリー プロトコル) が稼動する単一のスパニング ツリー リージョンとの境界 MST リージョンと、IEEE 802.1D が稼動する単一のスパニング ツリー リージョンとの境界 MST リージョンと、設定が異なる別の MST リージョンとの境界
bpdu-rx	受信した MST Bridge Protocol Data Unit (BPDU; ブリッジ プロトコル データ ユニット) をデバッグします。
bpdu-tx	送信された MST BPDU をデバッグします。
errors	MSTP エラーをデバッグします。
flush	ポート フラッシュ メカニズムをデバッグします。
init	MSTP データ構造の初期化をデバッグします。
migration	プロトコル移行ステート マシンをデバッグします。
pm	MSTP ポート マネージャ イベントをデバッグします。
proposals	指定スイッチとルート スイッチ間のハンドシェイク メッセージをデバッグします。
region	Switch Processor (SP; スイッチ プロセッサ) と Route Processor (RP; ルート プロセッサ) 間のリージョン同期をデバッグします。
roles	MSTP のロールをデバッグします。
sanity_check	受信した BPDU の正常性確認メッセージをデバッグします。
sync	ポート同期イベントをデバッグします。
tc	トポロジ変更通知イベントをデバッグします。
timers	開始、停止、および期限切れイベントの MSTP タイマーをデバッグします。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

■ debug spanning-tree mstp

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン `undebg spanning-tree mstp` コマンドは、`no debug spanning-tree mstp` コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
	<code>show spanning-tree</code>	スパニング ツリー ステート情報を表示します。

debug spanning-tree switch

Spanning-Tree Protocol (STP; スパニング ツリー プロトコル) ソフトウェア モジュールとポート マネージャ ソフトウェア モジュール間のソフトウェア インターフェイスのデバッグをイネーブルにするには、**debug spanning-tree switch** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug spanning-tree switch {all | errors | flush | general | helper | pm | rx {decode | errors | interrupt | process} | state | tx [decode]}
```

```
no debug spanning-tree switch {all | errors | flush | general | helper | pm | rx {decode | errors | interrupt | process} | state | tx [decode]}
```

構文の説明

all	スパニング ツリー スイッチのデバッグ メッセージをすべて表示します。
errors	スパニング ツリー ソフトウェア モジュールとポート マネージャ ソフトウェア モジュール間のインターフェイスに関するデバッグ メッセージを表示します。
flush	シム フラッシュ動作に関するデバッグ メッセージを表示します。
general	一般イベント デバッグ メッセージを表示します。
helper	スパニング ツリー ヘルパー タスク デバッグ メッセージを表示します。ヘルパー タスクは大容量スパニング ツリー更新を処理します。
pm	ポート マネージャ イベント デバッグ メッセージを表示します。
rx	受信した Bridge Protocol Data Unit (BPDU; ブリッジプロトコル データ ユニット) 処理のデバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • decode : デコード済み受信パケットを表示します。 • errors : 受信エラー デバッグ メッセージを表示します。 • interrupt : Interrupt Service Request (ISR; 割り込みサービス要求) デバッグ メッセージを表示します。 • process : 処理受信 BPDU デバッグ メッセージを表示します。
state	スパニング ツリー ポート ステート変更デバッグ メッセージを表示します。
tx [decode]	送信された BPDU 処理デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • decode : (任意) デコードされた送信パケットを表示します。



(注)

uplinkfast キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtringには表示されますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

■ debug spanning-tree switch

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg spanning-tree switch コマンドは、**no debug spanning-tree switch** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show spanning-tree	スパニング ツリー ステート情報を表示します。

debug sw-vlan

VLAN マネージャのアクティビティのデバッグをイネーブルにするには、**debug sw-vlan** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug sw-vlan {badpmcookies | cfg-vlan {bootup | cli} | events | ifs | management |
notification | packets | registries}
```

```
no debug sw-vlan {badpmcookies | cfg-vlan {bootup | cli} | events | ifs | management |
notification | packets | registries}
```

構文の説明

badpmcookies	不良ポート マネージャ クッキーの VLAN マネージャ インシデントに関するデバッグ メッセージを表示します。
cfg-vlan {bootup cli}	config-vlan デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> bootup : スイッチがブートアップするときにメッセージを表示します。 cli : Command-Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) が config-vlan モードである場合のメッセージを表示します。
events	VLAN マネージャ イベントのデバッグ メッセージを表示します。
ifs	debug sw-vlan ifs コマンドを参照してください。
management	内部 VLAN の VLAN マネージャ管理のデバッグ メッセージを表示します。
notification	debug sw-vlan notification コマンドを参照してください。
packets	パケット処理およびカプセル化プロセスのデバッグ メッセージを表示します。
registries	VLAN マネージャ レジストリのデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug sw-vlan コマンドは、**no debug sw-vlan** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show vlan	管理ドメインに設定されたすべての VLAN または特定の VLAN (VLAN 名または ID を指定した場合) のパラメータを表示します。

debug sw-vlan ifs

VLAN マネージャ IOS File System (IFS) エラー テストのデバッグをイネーブルにするには、**debug sw-vlan ifs** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug sw-vlan ifs {open {read | write} | read {1 | 2 | 3 | 4} | write}
```

```
no debug sw-vlan ifs {open {read | write} | read {1 | 2 | 3 | 4} | write}
```

構文の説明

open {read write}	VLAN マネージャ IFS ファイルオープン操作デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> read : VLAN マネージャ IFS ファイル読み取り動作のデバッグ メッセージを表示します。 write : VLAN マネージャ IFS ファイル書き込み操作デバッグ メッセージを表示します。
read {1 2 3 4}	指定されたエラー テスト (1、2、3、または 4) に関するファイル読み取り動作のデバッグ メッセージを表示します。
write	ファイル書き込み動作のデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg sw-vlan ifs コマンドは、**no debug sw-vlan ifs** コマンドと同じです。

ファイルの読み取り処理に処理 **1** を選択すると、ヘッダー検証ワードおよびファイルバージョン番号が格納されたファイルヘッダーが読み込まれます。処理 **2** を指定すると、ドメインおよび VLAN 情報の大部分が格納されたファイル本体が読み取られます。処理 **3** を指定すると、Type Length Version (TLV) 記述子構造が読み取られます。処理 **4** を指定すると、TLV データが読み取られます。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show vlan	管理ドメインに設定されたすべての VLAN または特定の VLAN (VLAN 名または ID を指定した場合) のパラメータを表示します。

debug sw-vlan notification

VLAN ID のアクティブ化および非アクティブ化のデバッグをイネーブルにするには、**debug sw-vlan notification** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug sw-vlan notification {accfwdchange | allowedvlanfcgchange | fwdchange |
linkchange | modechange | statechange}
```

```
no debug sw-vlan notification {accfwdchange | allowedvlanfcgchange | fwdchange |
linkchange | modechange | statechange}
```

構文の説明

accfwdchange	集約アクセス インターフェイス スパニング ツリー転送変更に関する VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。
allowedvlanfcgchange	許可 VLAN の設定変更に関する VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。
fwdchange	スパニング ツリー転送変更に関する VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。
linkchange	インターフェイス リンクステート変更の VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。
modechange	インターフェイス モード変更の VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。
statechange	インターフェイス ステート変更の VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。



(注)

pruningfcgchange キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtringには表示されますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug sw-vlan notification コマンドは、**no debug sw-vlan notification** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
<code>show vlan</code>	管理ドメインに設定されたすべての VLAN または特定の VLAN (VLAN 名または ID を指定した場合) のパラメータを表示します。

debug udld

Unidirectional Link Detection (UDLD; 単方向リンク検出) 機能のデバッグをイネーブルにするには、**debug udld** 特権 EXEC コマンドを使用します。UDLD デバッグをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug udld {events | packets | registries}
```

```
no debug udld {events | packets | registries}
```

構文の説明

events	UDLD プロセス イベントが発生したときのデバッグ メッセージを表示します。
packets	UDLD プロセスがパケット キューからパケットを受信し、UDLD プロトコル コードの要求に応答してそれらを送信するときに、このプロセスのデバッグ メッセージを表示します。
registries	UDLD プロセスが UDLD プロセスに依存するモジュールおよびその他のフィッチャ モジュールからのレジストリ コールを処理するときに、このプロセスのデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug udld コマンドは、**no debug udld** コマンドと同じです。

debug udld events を入力すると、次に示すデバッグ メッセージが表示されます。

- 一般的な UDLD プログラム論理フロー
- ステート マシンのステート変更
- errdisable ステートの設定および消去のプログラム アクション
- ネイバー キャッシュの追加および削除
- コンフィギュレーション コマンドの処理
- リンクアップおよびリンクダウン通知処理

debug udld packets を入力すると、次に示すデバッグ メッセージが表示されます。

- 着信パケット受信時の一般的なパケット処理プログラム フロー
- 受信したパケットをパケット受信コードで調べるときの、各パケットの内容の識別情報 (Type Length Version (TLV) など)
- パケット送信の試行内容およびその成果

debug uddld registries を入力すると、次に示すカテゴリのデバッグ メッセージが表示されます。

- サブブロックの作成
- ファイバポート ステータスの変更
- ポート マネージャ ソフトウェアからのステート変更通知情報
- MAC アドレス レジストリ コール

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show uddld	すべてのポートまたは指定されたポートの UDDL の管理ステータスおよび動作ステータスを表示します。

debug vqpc

VLAN Query Protocol (VQP) クライアントのデバッグをイネーブルにするには、**debug vqpc** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug vqpc [**all** | **cli** | **events** | **learn** | **packet**]

no debug vqpc [**all** | **cli** | **events** | **learn** | **packet**]

構文の説明

all	(任意) VQP クライアント デバッグ メッセージをすべて表示します。
cli	(任意) VQP クライアント Command-Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) デバッグ メッセージを表示します。
events	(任意) VQP クライアント イベント デバッグ メッセージを表示します。
learn	(任意) VQP クライアント アドレス ラーニング デバッグ メッセージを表示します。
packet	(任意) VQP クライアント パケット情報デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg vqpc コマンドは、**no debug vqpc** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。